

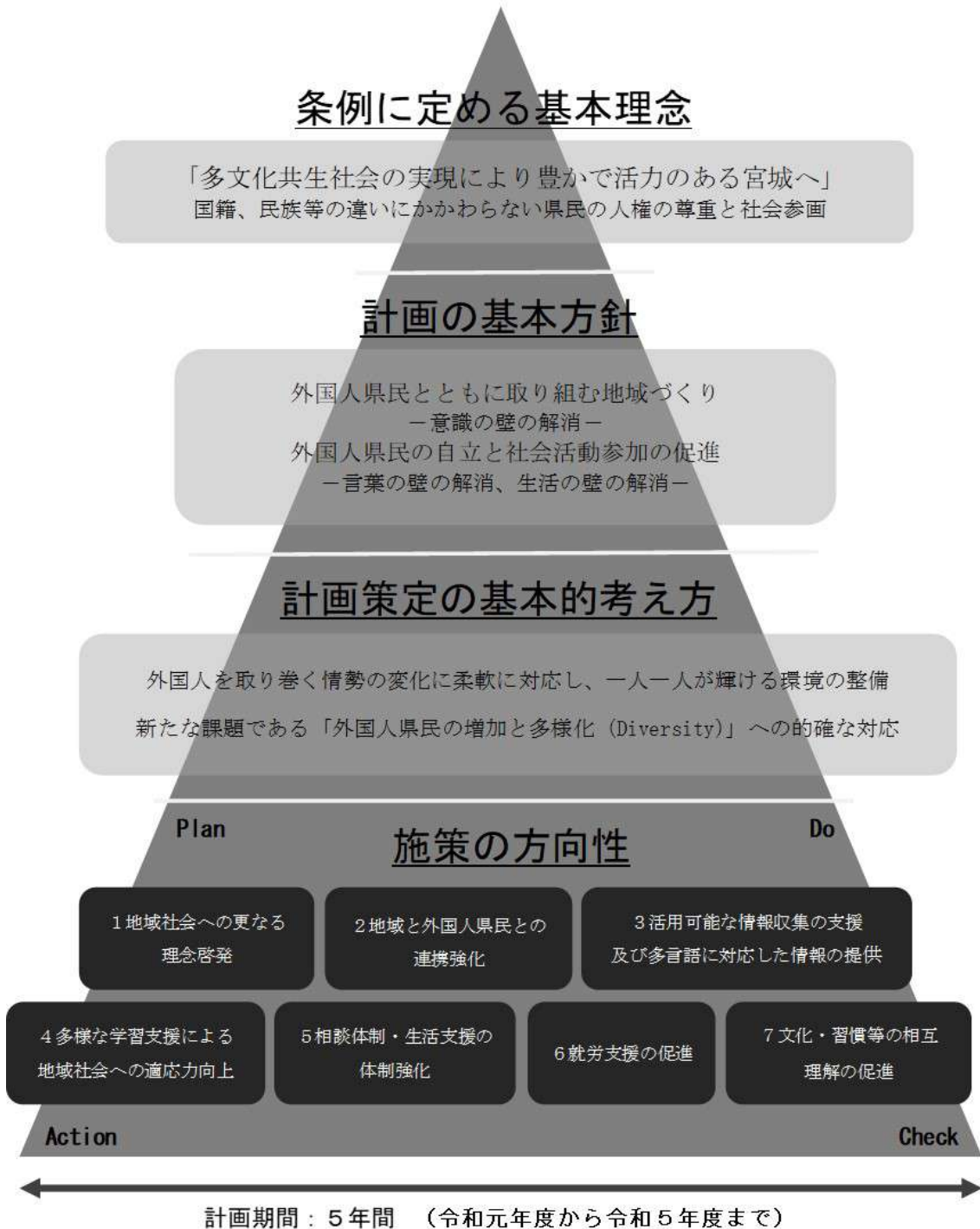
令和5年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策

【多文化共生社会の形成の推進に関する条例第21条に基づく報告】

令和6年5月
宮 城 県

基本方針と多文化共生施策の方向性

(第3期宮城県多文化共生社会推進計画より)



【参考1】多文化共生社会の定義（条例第2条関係）

「多文化共生社会」とは、国籍、民族等の異なる人々が、互いに、文化的背景等の違いを認め、及び人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きる社会をいう。

【参考2】議会への報告等（条例第21条関係）

知事は、毎年度、多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策を県議会に報告するとともに、公表するものとする。

1 令和5年度に講じた多文化共生施策

(1) 「意識の壁」の解消

【事業の取組方針】

「意識の壁」の解消に向け、広く基本理念の普及・啓発を行い、県民や関係機関等との推進体制の整備を図る。

① 多文化共生シンポジウム事業（事業費：255,110円）

目的：公設日本語学校を開設予定である大崎市と共催でシンポジウムを開催することにより、地域の多文化共生に関する意識の醸成及び日本語学校に通う留学生の受入に対する意識の向上を図る

テーマ：「日本語学校を核とした地域の多文化共生」

日時：令和5年11月19日（日） 午後2時から午後4時まで

場所：大崎市役所

来場者数：107名

プログラム

■基調講演：前写真文化首都「写真の町」東川町長
現学校法人北工学園 企画コーディネーター 松岡 市郎 氏
「東川日本語学校から広がる交流の輪」

■パネルディスカッション：

- ・コーディネーター 国立大学法人東北大学 高度教養教育・学生支援機構 澤邊 裕子 氏
- ・パネリスト (公財)宮城県国際化協会 総括マネージャー 大泉 貴広 氏
西古川地区振興協議会 会長 鬼沢 和雄 氏
おおさき日本語教室 代表 鈴木 裕子 氏
韓国釜山出身 介護福祉士 松本 京子 氏

(ポスター)



(上段：基調講演、下段：パネルディスカッション)

② 啓発ツール作成事業（事業費：586,080円）

ア 防災ハンドブックの周知クリアファイル

目的：最近の気象災害の激甚化等を踏まえ、多くの外国人県民に防災ハンドブックの周知を図る

作成部数：14,700部

配布先：市町村（戸籍住民担当部署）、地域国際化協会、日本語学校等の関係機関

イ 第4期宮城県多文化共生社会推進計画リーフレット

目的：第4期宮城県多文化共生社会推進計画を広く県民に周知する

作成部数：3,000部

配布先：市町村、教育委員会、学校等の関係機関



(クリアファイル)



(第4期多文化共生社会推進リーフレット)

③ 多文化共生社会推進審議会運営事業（事業費：326,312円）

目的：前年度に講じた施策や令和5年度多文化共生推進事業について審議を行うとともに、令和6年度を計画初年度とする第4期宮城県多文化共生社会推進計画の策定に係る審議を行う

ア 第1回

日時：令和5年5月31日（水）〔出席委員：9名〕

議題：(1) 令和4年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策について
(2) 令和5年度多文化共生推進事業について
(3) 第4期宮城県多文化共生社会推進計画について

イ 第2回

日時：令和5年8月29日（火）〔出席委員：7名〕

議題：第4期宮城県多文化共生社会推進計画（骨子案）について

ウ 第3回

日時：令和5年11月29日（水）〔出席委員：8名〕

議 題：第4期宮城県多文化共生社会推進計画（中間案）について
エ 第4回

日 時：令和6年1月30日（火）〔出席委員：6名〕

議 題：第4期宮城県多文化共生社会推進計画（最終案）について

④ 多文化共生市町村研修会事業（事業費： 0円）

目 的：市町村や県職員等を対象として、多文化共生に対する情報共有や施策の促進を図る

テ ー マ：「多言語による相談体制の整備」

日 時：令和5年11月30日（木） 午後1時30分から午後3時30分まで

場 所：宮城県自治会館9階 市町村振興協会 第1第2研修室

来 場 者 数：22名

内 容

■講 演：仙台出入国在留管理局 審査第二部門 統括審査官 昆 宏之 氏
「外国人受入の現状及び共生社会の実現に向けた取組について」

■事例紹介：

・宮城県国際化協会 伊藤 友啓 氏

「外国人支援通訳サポーター事業等の活用について」

・石巻市復興企画部地域振興課 岡田 桂奈 氏

「石巻市外国人相談窓口の設置について」

・蔵王町保健福祉課 菊地 那美 氏

「保健師の妊産婦及び新生児訪問における通訳支援の活用について」



（研修会の様子）

（2）「言葉の壁」の解消

【事業の取組方針】

「言葉の壁」の解消に向け、多言語化支援を行うとともに、外国人県民等への学習支援を図る。

① 地域日本語教育体制構築事業（事業費：6,809,800円）

目 的：外国人が地域で充実した生活を送っていくために必要となる地域の日本語教育

体制を、地域の実情にあった形式により県内各地で構築し、外国人個々のニーズに沿って日本語を学べる体制を整備する

ア 総合調整会議

有識者（10名）による日本語教育推進施策の協議を実施（2回）

（ア）第1回

日 時：令和5年8月4日（金）〔出席：9名〕

議 題：（1）令和5年度地域日本語教育体制構築事業について
（2）第4期宮城県多文化共生社会推進計画における日本語教育に関する基本的な方針案について

（イ）第2回

日 時：令和6年1月17日（水）〔出席：7名〕

議 題：（1）令和5年度地域日本語教育体制構築事業について
（2）令和6年度地域日本語教育体制構築事業案について
（3）第4期宮城県多文化共生社会推進計画における日本語教育に関する方針について

イ 日本語教育の人材育成・体制整備

（ア）総括コーディネーターの設置

（公財）宮城県国際化協会 総括マネージャー 大泉貴広 氏

（イ）地域日本語教育コーディネーターの配置

宮城県国際化協会日本語講座講師／東北中国帰国者支援・交流センター日本語講師 鈴木英子 氏

（ウ）地域日本語教育コーディネーター派遣

令和5年度は、既存の日本語講座へ地域日本語教育コーディネーターの派遣を実施し、日本語学習支援の方法等について研修を実施（計5回）

- a. 国際サークル友好21
- b. 泉日本語サロン
- c. 気仙沼市小さな国際大使館
- d. 角田市日本語講座
- e. 国際交流会ともだちin名取

（エ）既存講座の学習支援者向け研修

既存の日本語講座での日本語学習支援を行う者のスキルアップに向けた研修を実施

a. 日本語ボランティアセミナー

実施日：令和5年11月11日（土）

場 所：仙台市戦災復興記念館

内 容：文化庁「生活Can do」を活用した日本語学習支援活動

受講者：33名

b. M I A日本語サポーターオンラインサポート情報交換会

実施日：令和6年2月2日（金）

場 所：オンライン開催

内 容：オンラインサポート経験者による事例紹介・情報交換、M I A日本語講座講師による助言等

受講者：7人

c. M I A日本語サポーター ビギナー研修会

実施日：令和5年8月3日（木）、令和6年2月8日（木）

場 所：宮城県国際化協会

内 容：宮城県の国際化と日本語学習支援活動／外国語としての日本語・やさしい日本語／日本語学習教材の紹介

受講者：延べ26名



(日本語ボランティアセミナーの様子)



(コーディネーター派遣の様子)

(オ) 新たに立ち上げる日本語講座で活動する支援者の養成

新たに日本語講座を立ち上げる日本語講座県内2か所で、講座で活動する人材を養成するための研修を実施した。

a. 丸 森 町

実施日：令和5年10月から計4回

場 所：丸森まちづくりセンター、丸森町役場

内 容：地域の多文化の現状／外国語としての日本語／やさしい日本語／異文化間コミュニケーション／他地域の事例／具体的な活動の進め方等

受講者：12名

b. 蔵 王 町

実施日：令和5年10月から計3回

場 所：東北大学川内キャンパス文・法合同研究棟、オンライン

内 容：(蔵王町国際交流協会及び東北大学文学部日本語教育学研究室と連携) 外国人労働者について／やさしい日本語／具体的な活動の進め方

受講者：15名

(カ) 日本語講座のない「空白地域」解消に向けた日本語講座の試験的实施

a. 丸 森 町

実施日：令和6年1月から計2回

場 所：丸森まちづくりセンター

内 容：テーマに基づいた対話活動

自己紹介／趣味／欲しいもの／日本で行きたいところ・行ったところ／作文／いちばん楽しいこと／自分の国の正月の過ごし方

受講者：延べ57名（うち外国人42名）

b. 蔵 王 町

実施日：令和5年10月から計8回

場 所：オンライン

内 容：『わたしをつたえる にほんご』（CINGA）を活用した活動

自己紹介／好きなこと・好きなもの／わたしの1日／蔵王町国際交流協会とのお

話会／よく行くところ・行きたいところ／からだ・健康／これからしたいこと
受講者：延べ102名（うち外国人39名）



(活動の様子)

(キ) 新規日本語講座の安定運営に向けた支援

令和4年度に新規立ち上げ支援を行った加美町、岩沼市における日本語講座が安定的に運営できる体制となるよう企画や運営等に係る支援を行った。

a. 加美町

実施日：令和5年5月から計2回

場 所：加美町住民バスセンター

b. 岩沼市

実施日：令和5年5月から計18回

場 所：JOCA東北、いわぬま市民交流プラザ

(ク) 地域ネットワーク会議の開催

県内の日本語学習支援団体同士のネットワーク構築、情報交換の場を提供した。

実施日：令和6年2月20日（火）午後1時30分から午後3時30分まで

場 所：オンライン

参加者数：16名（14教室）

ウ 日本語教室を拠点とした技能実習生等と地域住民との交流事業

住民と在住外国人が地域で顔が見える関係を構築するため、防災をテーマとした研修及び交流会を実施（2町）

(ア) 丸森町

実施日：令和5年12月10日（日）午後2時から午後4時まで

場 所：館矢間まちづくりセンター

内 容：防災研修（防災・減災の基礎知識／ハザードマップの見方／非常食の試食／
災害時に使われる言葉）

参加者：26名（うち外国人14名）

(イ) 蔵王町

実施日：令和6年1月14日（日）午前10時から正午まで

場 所：蔵王町ふるさと文化会館（ございんホール）

内 容：防災研修（防災・減災の基礎知識／蔵王町における自然災害／災害時に使われる言葉）

参加者：17名（うち外国人7人）



(防災研修の様子)

エ 地域住民等を対象としたやさしい日本語研修

日本人側のコミュニケーション手段として有効となる「やさしい日本語」研修を実施（3市町）

(ア) 栗原市

実施日：令和5年10月12日（木）午前9時30分から午前11時まで

場 所：栗原市役所

内 容：地域の多文化化の現状／話し言葉のやさしい日本語／書き言葉のやさしい日本語

参加者：市職員 24名

(イ) 白石市

実施日：令和5年12月15日（金）午後3時から午後4時45分まで

場 所：白石市防災センター

内 容：地域の多文化化の現状／話し言葉のやさしい日本語／書き言葉のやさしい日本語

参加者：国際交流協会会員、市職員、学校教員、消防職員 26名

(ウ) 松島町

実施日：令和6年2月14日（水）午後1時30分から午後3時まで

場 所：松島町役場

内 容：地域での多文化の現状／話し言葉のやさしい日本語／書き言葉のやさしい日本語

参加者：観光事業者、町会議員、一般町民 24名



(研修会の様子)

② 災害時通訳ボランティア整備事業（事業費：192,720円）

目的：被災地からの要請に応じ速やかに通訳ボランティアを派遣できる体制整備を図る
 ボランティア登録状況：122名、20言語（令和5年度末時点）

ア 研修会の開催

(7) MIA外国人支援通訳サポーター・災害時通訳ボランティア合同研修会

実施日：令和6年2月29日（水）午後2時から午後3時30分まで

場所：オンライン

参加者：17名（うち災害時通訳ボランティア登録者13名）

内容：在留外国人の現状、今年度MIA外国人支援通訳サポーター稼働実績について

HIVの基礎知識、在留外国人のHIV感染状況について

(4) 災害時通訳ボランティア公開研修会

実施日：令和6年3月9日（土）午後2時45分から午後4時15分まで

場所：仙台国際センター展示棟 会議室3-B

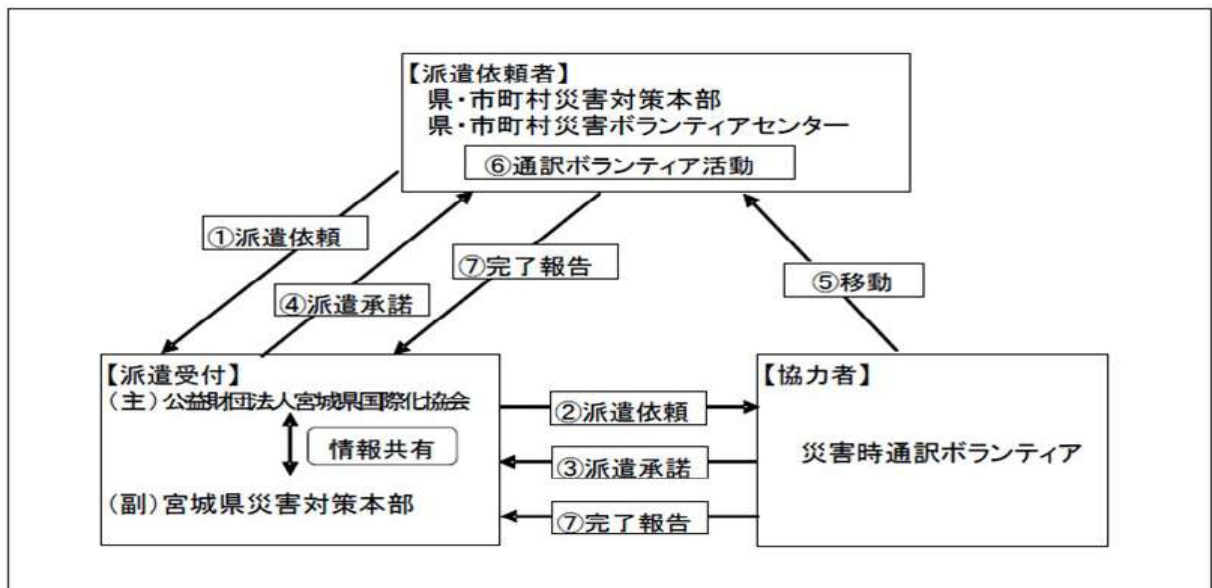
参加者：36名（うち災害時通訳ボランティア登録者6名）

内容：・在留外国人の現状と災害時の外国人及びその支援の課題

・日本語学校職員、石巻市外国人相談窓口相談員による事例紹介

・宮城県、仙台市における多文化防災の取組紹介など

イ 派遣フロー図



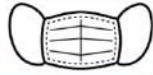
③ 多言語情報発信強化事業【コロナ対応】（事業費：400,000円）

目的：外国人向けに様々な情報を発信しているMIAのホームページ及び宮城県ホームページの新型コロナウイルス感染症サイトにて多言語による情報発信を行い、コロナ禍における不安解消を図る

実績：多言語による情報発信 9件

Không có chuyện vi rút corona chủng mới sẽ biến mất sau khi chuyển thành bệnh truyền nhiễm loại 5

Đeo khẩu trang trong tình huống nhất định



Về cơ bản, đeo khẩu trang hay không là tùy theo quan điểm của mỗi cá nhân

Thông thoáng khí

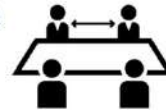


Tuy không yêu cầu tất cả nhưng các biện pháp phòng ngừa lây nhiễm vẫn tiếp tục có hiệu lực

Giữ vệ sinh bàn tay như rửa tay v.v...



Giữ khoảng cách với người khác



Tránh 3 mitsu

Đề nghị các cá nhân và đơn vị thực hiện theo phán đoán chủ quan của mình

4

県ホームページ（新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う情報）

(3) 「生活の壁」の解消

【事業の取組方針】

「生活の壁」の解消に向け、外国人県民等のサポートを行うとともに、活躍の支援を図る。

① みやぎ外国人相談センター設置事業（事業費：5,545,833円）

目的：外国人県民やその家族から寄せられた相談に対して、必要な情報提供や専門窓口の紹介など問題解決に向けたアドバイスをを行い、外国人県民の不安解消、問題解決を図る

ア 相談センター相談員の対応言語

日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語

※ 相談員の勤務日以外に上記言語での相談があった場合は、外部多言語コールセンターにより随時対応

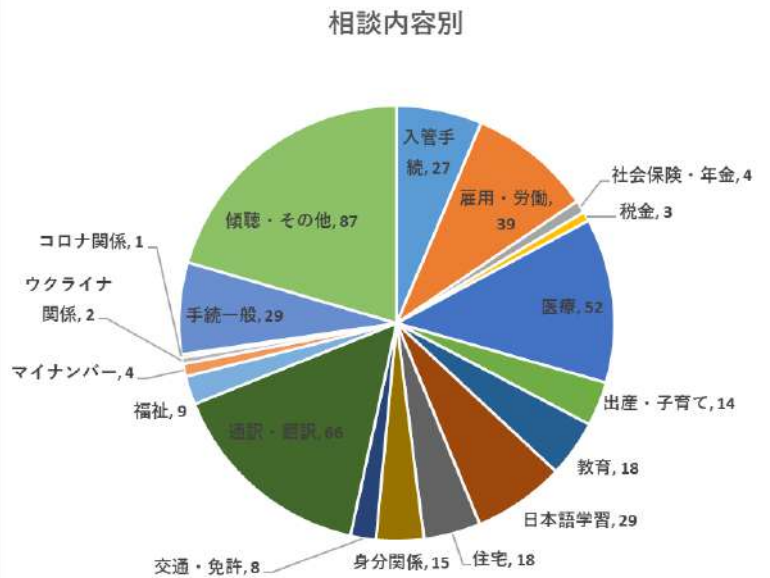
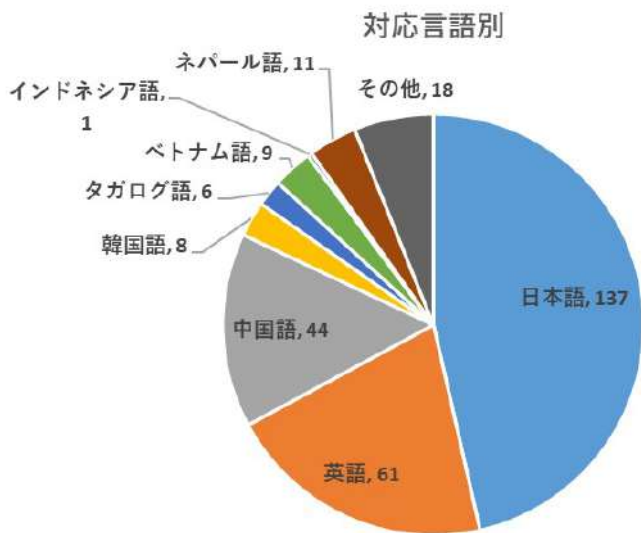
イ 外部多言語コールセンター（「トリオフォン」機能を付加した電話機対応）の対応言語

相談センター相談員の対応言語の他、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、タイ語、ヒンディー語

ウ 相談対応件数 295件

エ 男女構成比 女性131件（44%）、男性164件（56%）

オ 相談手段 電話249件（84%）、来所26件（9%）、その他20件（7%）



② 新型コロナウイルス感染症に関する受診情報センター及びワクチン副反応相談センターの多言語対応【コロナ対応】（事業費：2,508,000円）

目的：県が設置している新型コロナウイルス感染症に関する受診情報センター及びワクチン副反応相談センター（コールセンター）について、外国人県民からの相談があった場合、相談者、コールセンター及び通訳オペレータによる3者間通話により多言語相談ができる体制を整備することで、コロナ禍における外国人県民の不安解消を図る

- ア 対応言語 12言語
- イ 対応時間 24時間365日（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語）
平日 8:30～18:00（タイ語・ネパール語・ベトナム語・ロシア語・
タガログ語・インドネシア語・ヒンディー語）
- ウ 実績 多言語コールセンター利用件数 21件

3者間通話イメージ



③ 技能実習生等との共生の地域づくり推進事業（事業費：10,919円）

- 目的：技能実習生等との外国人住民と地域住民との地域づくりの取組を支援し、地域における技能実習生等の受入環境づくりを推進する
- 日時：令和6年2月12日（月）
- 場所：互理町公民館
- 参加者数：15名
- 内容：バレンタインカード作りと世界の文化紹介



④ 外国人材マッチング支援事業（事業費：21,357,240円）

- 目的：県内企業における外国人材の受入の整備を総合的に支援し、外国人材の採用・活用を図る

ア 「外国人材バンク」及び「企業バンク」の形成

登録数：外国人材バンク 1,770名、企業バンク 407社

イ 企業相談窓口の運営（相談件数 41件）

ウ 外国人材向けセミナーの実施（オンデマンド配信全5回、視聴数計：1,351回）

エ 企業向けセミナーの実施（オンデマンド配信全2回、視聴数計：317回）

オ 教育機関・企業向け出張セミナーの実施（全13回）

カ 合同企業説明会の実施（対面とオンラインで全2回：参加留学生等188名、参加企業40社）

キ 留学生による企業訪問ツアーの実施（対面で全3回：参加留学生等30名、参加企業9社）

ク 企業と外国人の交流会の実施（対面で全2回：参加留学生等24名、参加企業20社）

ケ 外国人材活用モデル企業の選定・広報（モデル企業5社選定）

コ 中長期インターンシップ補助金（インターン生4名、受入企業4社）



（合同企業説明会の様子）



（企業訪問ツアーの様子）



(モデル企業の取組紹介)

⑤ 外国人材高度化転換支援事業（事業費：5,617,600円）

目的：県内企業への就労を前提とした特定技能への転換を支援することで、人手不足の解消と人材流出対策に繋げる

ア 外国人材高度化転換補助金

在留資格申請サポート、登録支援期間への委託料補助、日本語学習支援補助等を実施した。（申請実績：1社）

イ 外国人材活用・定着オンラインセミナーの開催（全3回：参加企業延べ65社）

ウ 技能実習生 Thanks Party

技能実習生同士の交流の場の創出を目的とし、Thanks Partyを開催した。（全2回：参加技能実習生 計327名）



(技能実習生 Thanks Partyの様子)

2 宮城県多文化共生社会推進計画の評価指標における進捗状況

評価指標 1 多文化共生啓発事業を実施している市町村数

■指標説明

市町村が実施する啓発関連イベントのほか、関係部署・関係者との会議の開催を含む

■目標値 R5 : 35市町村

【考え方】

最終的にはすべての市町村による実施が望ましいことから、県内35市町村を目標に設定

■進捗状況 R5 : 18市町村

【実施市町村（18市町村）】

仙台市、石巻市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、丸森町、亘理町、七ヶ浜町、大郷町、加美町、南三陸町

評価指標 2 多文化共生に関する説明会等に参加した県民の数

■指標説明

町内会、民生委員など地域の推進役に対する各種研修会等での多文化共生に関する説明、情報提供などに参加した県民の数

■目標値 R5 : 2,300人

【考え方】

年10%の増加を見込んだ数

■進捗状況 1,748人

(R1 : 441人、R2 : 119人、R3 : 212人、R4 : 501人、R5 : 475人)

【結果】

R5年度参加人数 : 475人

【内訳】

- ・仙台市 :
 - ①「市政出前講座（やさしい日本語講座）」(3件／参加者137人)
 - ②「多文化共生講座」(4件／参加者93人)
- ・多賀城市「国際理解講座」(参加者25人)
- ・名取市 : 「国際交流ボランティア研修会」 (参加者39人)
- ・大崎市 : 「多文化共生シンポジウム in おおさき」(参加者107人)
- ・宮城県
 - ①「多文化共生シンポジウム in おおさき」(参加者107人)【再掲】
 - ②「やさしい日本語研修」(参加者74人)

評価指標 3 多言語による生活情報の提供実施市町村数

■指標説明

生活に関する情報を日本語以外の言語で提供している県内の市町村の数

■目標値 R5 : 35市町村

【考え方】

最終的にはすべての市町村による実施が望ましいことから、県内35市町村を目標に設定

■進捗状況 R5 : 35市町村

【実施市町村】

県下全35市町村で実施

評価指標4 日本語講座など日本語学習支援及び関連する取組を実施している市町村数

■指標説明

日本語講座や日本語教室の開設に加え、その他の日本語学習支援や関連する取組を含む

■目標値 R5 : 35市町村

【考え方】

最終的にはすべての市町村による実施が望ましいことから、県内35市町村を目標に設定

■進捗状況 R5 : 15市町村

【実施市町村】

仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、大崎市、蔵王町、川崎町、丸森町、亘理町、加美町、美里町

※R4から3町（蔵王町、川崎町、丸森町）増加

評価指標5 外国人相談対応体制を整備している市町村数

■指標説明

他団体等と連携して外国人相談に対応できる体制を整備している場合も含む。

■目標値 R5 : 15市町村

【考え方】

前計画の目標値の1.5倍

■進捗状況 R5 : 16市町村

【実施市町村】

仙台市、石巻市、気仙沼市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、登米市、大崎市、富谷市、七ヶ宿町、川崎町、丸森町、七ヶ浜町、加美町、涌谷町

※R4から3市町（多賀城市、七ヶ宿町、丸森町）増加

評価指標6 (i) 技能実習を除く外国人雇用者数（厚生労働省調べ）【各年10月末現在】
(ii) 外国人就労支援セミナー等の参加事業所数

■指標説明

- (i) 技能実習を除いた外国人雇用者の数
- (ii) R元年度からR5年度までの合計事業所数

- 目標値 (i) R5 : 12,000人
(ii) R5 : 1,500事業所

【考え方】

- (i) H26からH29までの平均増加率による増加見込み
- (ii) 年10%の増加を見込んだ数

■進捗状況

(i) R5: 11,711人

【結果】

前年度(10,907人)から外国人雇用者数は804人増加した。
(前年度増加率7.4%)

(ii) 831事業所

(R1: 378事業所, R2: 172事業所, R3: 67事業所, R4: 80事業所)

【結果】

R5年度参加事業所数: 134事業所

【内訳】

- ・宮城県外国人材マッチング支援事業
(合同企業説明会: 40事業所、企業訪問ツアー: 9事業所、交流会: 20事業所)
- ・外国人材高度化転換支援事業
(外国人材活用・定着オンラインセミナー: 65事業)

評価指標7 文化・習慣等の相互理解の促進に係る取組の参加者数**■指標説明**

R元年度からR5年度までの合計人数

■目標値 R5: 3,500人

【考え方】

年10%の増加を見込んだ数

■進捗状況 5,805人

(R1: 1,926人、R2: 691人、R3: 609人、R4: 1,089人)

【結果】

R5年度は、1,490人の参加。

【内訳】

- ・石巻市:「多文化共生推進事業「じゃぱneeds塾」(120人)
- ・塩竈市:「塩竈市中学生国際交流研修事業」(8人)
- ・気仙沼市:「気仙沼インドネシア交流事業(231人)
- ・白石市:①「国際理解を深める講演会(30人)
②「料理を通して世界を知る会(20人)
- ・名取市:「名取市多文化共生交流会」(全4回/延102人)
- ・多賀城市:「国際交流まつり」(60人)
- ・岩沼市:「ございん IWANUMA ワールドフェス」「IWANUMA フレンドリーマッチ」(不明)
- ・登米市:「夏・秋の国際交流会」「登米市国際まつり」(延259人)
- ・栗原市:「国際交流フェスティバル」「食の国際交流」(不明)
- ・大崎市:「おおさき多文化共生シンポジウム&第12回国際交流フェスティバル」(107人)
- ・蔵王町:「日本文化交流会」(31人)

- 「世界の料理教室」(27人)
- 「蔵王の秋を楽しみ会」(30人)
- 「国際理解教室」(64人)
- 「蔵王冬のスノーシューハイキング&陶芸教室」(43人)
- ・ 亘理町：「バレンタインカード作りと世界の文化紹介」「いちご狩り・交流会」
「亘理万博でのブース設置」「世界の料理教室」
- ・ 松島町：「交流バーベキュー」(40人)
「世界のワインのタベ」(40人)
- ・ 加美町：「秋のスポーツイベントパークゴルフ体験会」(27人)
- ・ 涌谷町：「海外料理教室」(10人)
- ・ 美里町：①「2023 国際交流オータムフェア」(150人)
②「美里町みやぎのふるさとふれあい事業」(16人)
- ・ 南三陸町：「南三陸町産業フェア出店」(20人)
- ・ M I A：「みやぎのふるさとふれあい事業」(55人)

令和 5 年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策
(多文化共生社会の形成の推進に関する条例第 2 1 条に基づく報告)

令和 6 年 5 月

【編集】 宮城県経済商工観光部国際政策課

〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目 8 番 1 号

E-mail kokusai@pref.miyagi.lg.jp

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kokusaisei/>